

(様式2)

学校関係者評価報告書

松山北高等学校中島分校

学校番号(22)

評価実施日	令和 7年 2月 21日(金)		
委員	氏名	所属等	備考
	金本 房夫	元松山市教育委員会教育長	欠席
	河野 五七男	前中島分校後援会長	
	久米 淳子	中島分校同窓会長	
	長野 真太郎	松山市立中島中学校長	
	武智 博子	中島分校PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 「なかぶん」宣言2024(旧マニフェスト)の実現に向けた取組 独自の特色ある体験活動が行われており、それらの取組が地元中島中学校の生徒にも刺激となっている。</p> <p>(2) 生徒・保護者の学校評価 昨年度より評価は下がっているが、学年進行とともに評価は上昇している。生徒は中島と学校に慣れる中で、生き生きとした活動ができているように感じる。</p> <p>(3) 生徒指導 朝の挨拶運動を生徒会が行っているが、他の生徒が挨拶を返していないように感じる。生徒会だけでなく全員の取組になるとよい。人間関係を学習する場面がほしい。助け合いの気持ち、思いやりの気持ちが卒業後に必要とされる力だと思う。</p>	<p>・今後も地域活性化につながる持続可能な体験活動の創出に努めたい。また、異世代交流にも力を入れ、人と人とのつながりの大切さを教えていきたい。</p> <p>・来年度も引き続き、生徒を第一に考えた学校づくりを心掛ける。保護者に対してもこまめな情報発信に努める。</p> <p>・他者を認め、思いやる心を育てる「心の教育」の実践に努める。体験活動・交流活動を通じ、小さな成功体験を積み重ねることで、自己有用感を高めていき、「生きる力」を身に付けさせる。</p>
<p>2 外部への魅力発信について 今年度は新聞やニュースで分校の活動を見る機会が多かった。受験生が増えるよう引き続き情報発信してほしい。分校での不登校の改善についてSNSで発信したところ、同じ悩みを持つ保護者から問い合わせがあった。保護者の実体験による発信も有効であると感じた。</p>	<p>・ホームページのさらなる充実を図る。また、生徒会を中心にInstagramでの情報発信を積極的に行う。公民館での学校説明会に在校生の保護者に参加していただき、保護者目線で学校生活の様子等について紹介していただく機会を設ける。</p>
<p>3 中学校との連携について 中学校での学校説明会で行ったプレゼンテーションを1・2年生の保護者へ説明する機会を設けたい。また、教員間の交流も増やし、小・中・高での9年間の交流が分校へとつながることが理想である。ドローン撮影の協力等、今後も小・中・高との交流を発展させていきたい。</p>	<p>・中島中学校での1・2年生を対象とした学校説明会は、ぜひ実施したい。分校が力を入れているサイクリング活動での交流も実施したい。平日における中高合同の学校行事を検討するなど、今後もより一層交流を深め、相乗効果を図りたい。</p>